

公民連携の1年間の取組み効果（平成30年度）

【資料】

◆ 包括連携協定締結数

10件（累計39件49社4大学）



◆ デスクがコーディネートした 企業・大学と部局との連携数

328件（平成29年度：260件）

◆ ネットワーク企業数

640社（累計）

◆ 直接的効果額

（デスクが関わった取組みについて「仮に府が直接実施した場合に必要な金額」を試算）

2億3,000万円（平成29年度：2億3,000万円※）

※平成29年度は、万博誘致に係るパートナー協賛等の7,700万円を除くと約1億5,000万円

◆ 府民・地域社会に及ぼす効果 （金額では表せない効果）

公民連携による新たなサービスの創出

（子ども・教育、健康、安全・安心、雇用等に関する取組み）

◆ 公民連携を拡げる取組み

公民連携フォーラム、創発ダイアログ（※）の開催

※公民連携で解決すべき行政課題をテーマに設定し、複数の事業者（公・民）間による対話から様々なアイデアを生み出す公民連携の新たな仕組み

公民連携の取組みによる直接的効果額（平成30年度）

【資料】

類 型	概 要	概算額(千円)
企業のもつネットワークや広報媒体を活用した府政のPR 【136,337千円】	りそな銀行のATM画面やメルマガを活用した府政のPR	21,240
	大阪信用金庫における店舗内モニターやメルマガを活用した府政のPR	29,776
	関西ぱどによる刊行誌（まみたん、家庭版ぱど、Workinぱど、Root for等）での府政に関する記事の掲載	41,560
	ハークスレイの本社屋上のデジタルサイネージ「HOKKA VISION」を活用した府政のPR、機関紙での府政に関する記事の掲載	9,824
	FC大阪によるインターネットTV（大阪府チャンネル）をはじめとする「OSAKA愛鑑」を活用した府政のPR	26,640
	上記の他（大塚製菓の熱中症対策・朝食欠食改善等の啓発ポスターの作成と小売店等での掲示、損保ジャパン日本興亜の自転車条例のPRポスター等の作成及び配布、東京海上日動のがん検診受診率向上のためのリーフレットの作成、いずみ市民生協の機関誌への府政に関する記事の掲載、住友生命の「くらしの知恵ノート」への府政情報の掲載、キリンビールの府の事業と連携したポスターの作成及び配布、大阪バスの府政情報の車内アナウンスの実施、真生印刷のパンフレットの作成、セルビスの機関誌への府政に関する記事の掲載 など）	7,297
企業からの協賛・寄附等 【80,572千円】	いずみ市民生協による府内市町村や社会福祉協議会が連携している「子ども食堂」等への食材等の提供	5,115
	FC大阪による府営服部緑地陸上競技場における芝生の整備・維持管理への協力やSDGsスペシャルマッチへの招待、ワールドマスターズゲームズ2021関西への協賛	12,881
	あいおいニッセイ同和損保による生活困窮者支援への協力（災害備蓄米と飲料水の提供）	3,560
	近畿大阪銀行によるCSR私募債を活用した府基金等への寄附	7,440
	上記の他（ローソンの大阪産（もん）みかんサンミーの販売個数に応じた「子ども輝く未来基金」への寄附、セブン-イレブン・ジャパンの社会福祉協議会への店舗改装時等の在庫商品の寄贈、ファミリーマート等の広域サイクルルート事業への協賛、大阪信用金庫のキャラクターコラボレーション手帳の作成、損保ジャパン日本興亜の災害備蓄米等の寄附、大阪地区トヨタ各社の反射材キーホルダーの作成、グンゼの緑化事業への寄附、NTTドコモの児童福祉施設等へのタブレット端末100台の寄贈、ミズノの生活困窮者支援や児童福祉施設へのスポーツグッズの寄贈、ガイドードリンコの放課後子ども教室への教材キットの提供や緊急消防援助隊大阪府大隊への飲料水の提供、上新電機の「子ども輝く未来基金」への寄附、明治安田生命の社会人野球観戦への招待、エコスタイルのクールスポットづくりへの太陽光発電設備の提供、galaxyの本の寄贈、大塚製菓・不二製油・キリンビール・キリンビレッジ・リコージャパン・小林製菓・タマノイ酢・わんわんによる府主催イベントへの協賛、大阪ガス・カゴメ・STYLE・ナリス化粧品・マンダム等、企業によるクラウドファンディングへの商品提供、積水ハウス・セルビスの婚活イベントへの協力、企業版ふるさと納税を活用した寄附 など）	51,576
会場の提供等 【11,446千円】	イオンにおける「えほんのひろば」等府事業への会場提供	6,620
	りそな銀行における公民連携フォーラム等府事業への会場提供	1,300
	上記の他（東京海上日動、不二製油、リコージャパン、三井不動産による会場提供 など）	3,526

【本効果額にあたっての留意事項】

- ・デスクが関わった取組みについてのみを対象としており、今年度中に大阪府と企業が連携した全取組みを掲載しているものではない。
- ・金額は、「仮に府が直接実施した場合に必要な額」で企業の子承を得たものについて掲載している。
- ・大阪府北部を震源とする地震及び台風21号の義援金については、記載していない。

上記の合計228,355千円

公民連携によって創出された府民、地域社会に対するサービス（主なもの）

分野	項目	概要
子ども・福祉	子ども達への多様な経験の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> FC大阪によるトップアスリート小学校ふれあい事業への参画や公式戦観戦招待、リコージャパンによるラグビートップリーグの試合観戦招待 ET-KINGのライブ鑑賞招待、積水ハウスの梅田スカイビルへの招待 「放課後子ども教室」における、企業による多種多様なプログラムおよび教材キットの提供（新たに8プログラム、1キットの追加）
	子ども食堂、居場所づくりへの支援	<ul style="list-style-type: none"> いずみ市民生協による、府内の市町村や社会福祉協議会が連携している「子ども食堂」等への食材提供及び「とまとちゃん福祉基金」活動による府内33団体への796万円の支給
福祉	上記の他、様々な支援	<ul style="list-style-type: none"> ローソン大阪城公園店における「こさえたん」商品の期間限定販売 いずみ市民生協、おおさかパルコープ、大阪よどがわ市民生協による、府内の赤ちゃんが生まれた家庭への食品・必需品や子育て施策のお知らせを詰め合わせた「はじまるばこ」の配達（約18,000個：平成30年4月～平成31年3月 応募制） FC大阪による公式戦での募金活動（FC大阪子ども基金）を通じた「子ども輝く未来基金」への寄附と周知協力
	大学と連携した若者への健康啓発	<ul style="list-style-type: none"> 府内大学における健康キャンパス・プロジェクト（子宮頸がん検診車の派遣やセミナー等）での連携
健康	企業の持つネットワークや広報ツールを活用した府民の健康づくりへの啓発	<ul style="list-style-type: none"> 東京海上日動、いずみ市民生協が連携したがん検診の啓発リーフレットの作成及び周知活動 小林製薬による健活10とのタイアップポスターとポップの作成及び府内歯科医院（約5,500医院）や薬店等（約936店舗）での掲示 セブン-イレブン・ジャパンやファミリーマート、Osaka Metroの各所における感染症予防ステッカーの掲示 上記の他、企業のポータルサイトやポスター、メルマガ、情報誌等を通じて、健活10をはじめ、がん検診等受診啓発や健康セミナー等、府民の健康づくりに関する情報の発信
	働き方改革・健康経営プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> 「Well-Being OSAKA Lab」（H31.3月時点で121団体が参画）での企業主体のセミナー等の開催（5回、参加延べ人数：385名）
安全・安心	災害時支援や防災・防犯の協力	<ul style="list-style-type: none"> 企業内での特殊詐欺被害や女性犯罪被害の防止セミナーの開催（2企業、参加延べ人数：167名） 大阪880万人訓練をはじめとする各種防災訓練等の周知 大阪府北部を震源とする地震や台風21号被害に対する支援
雇用	支援学校等の生徒を対象とする就労支援研修、職場実習の実施	<ul style="list-style-type: none"> セブン-イレブン・ジャパンによる府内支援学校等の生徒を対象に、接遇やレジの扱い方等、障がいに配慮して考案されたプログラムによる実践的な研修の実施。府内支援学校等の生徒31名、教員・関係者37名が参加
	女性の活躍推進への協力	<ul style="list-style-type: none"> 協和発酵キリン、積水ハウスによる、OSAKAごとフィールドにおける専門的知見や先進事例を通じた、働きたい女性にとってのスキルアップやセルフケア、悩み解消につながるセミナー等の開催（2回、参加延べ人数：47名） 第一生命による女性の就業に関する意識アンケートの実施協力（サンプル数：2,945名）
環境	環境保全・循環の取組みへの協力	<ul style="list-style-type: none"> イオンやコンビニ3社の店舗における、海洋プラスチックごみ削減に向けた啓発 大阪信用金庫によるZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）優遇ローン制度の創設
府政のPR・地域活性化	インターネットTV等を活用した府政PR	<ul style="list-style-type: none"> FC大阪によるインターネットやマスメディア（ラジオ、地域テレビ放送）を活用した、府政や地域の魅力を発信するポータルサイト「OSAKA愛鑑」の運営協力（インターネットTVは府（月1回）や6市町村で定期的に放送）
	企業の特徴を活かした府政PR	<ul style="list-style-type: none"> ローソンによるOsaka Metroの売店における大阪産（もん）フェアの開催（Osaka Metroローソン全41店舗 5商品） セブン-イレブン・ジャパンによる大阪産（もん）を使った商品（大阪なすの麻婆茄子丼）の開発及び店舗での販売（171店舗） ET-KINGによるがん検診受診啓発のためのタクシー出発式典への出席 Osaka Metroによる駅構内に掲示・配架するポスターやリーフレットを活用した健活10のPR
	企業主催のイベントにおける府政PR	<ul style="list-style-type: none"> 企業が主催する様々なイベントにおける、府政のPRブースの設置や、「もずやん」によるステージPR等を実施（例）いずみ市民生協「コープフェスタ2018」、関西ばど「防災フェスタ2018」、グンゼ「乳がん検診促進キャンペーン in なんばワーク」、FC大阪「大阪府SDGsスペシャルマッチ」、GOTO2025「ダイヤラッシュフェス」、宮田運輸「こどもミュージアムフェスタ」 など